

議 事 録

会 議 名	第7期第9回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和4年5月24日(火) 午後3時 ～ 午後4時30分		
開 催 場 所	町民センター1階 展示室2		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員 杉下会長, 落合副会長, 半澤委員, 上山委員, 山下委員, 大関委員, 大久保委員, 金子委員, 吉田委員, 高崎委員, 庭野委員, 平本委員, 井村委員, 菊地委員</p> <p>○欠席委員 安江委員, 相田委員</p> <p>○事務局 戸村町民部長, 岡野町民協働課長, 栢沼主査, 清田主事</p> <p>○傍聴者数 2名</p>		
議 題	<p>(1) 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について</p> <p>(2) 第24回まちづくり懇談会に係る報告書(案)について</p> <p>(3) 各計画プラン等進捗状況一覧表・(仮称)いまここマップに係る報告書(案)について</p>		
決 定 事 項	<p>1 議事録承認委員：上山委員, 落合委員</p> <p>2 町長へ提出する報告書に、次の変更を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書全体の(仮称)いまここマップの(仮称)を削除し、名称をいまここマップに決定</li> <li>・資料2の4ページ目「4. 今後」に、町民から町長への一方的なやりとりではなく、情報共有を行ったことが分かる文章を追記</li> <li>・資料3の3ページ目「4. 現状と提言に至った経緯」の「誤解からの政策形成」を「議会からの政策形成」に修正</li> </ul> <p>3 次回会議は(第8期第1回会議)は、7月26日(火)午後3時からに決定</p>		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合 その理由(一部非公開の場合を含む)	

議事の経過	<p>1 開会 2 会長あいさつ 3 議事録承認委員の選出</p> <p>【事務局】まちづくり推進会議では、名簿の上から順に、当日の出席委員の中から議事録承認委員を選出しております。前回、14番井村委員及び1番半澤委員をお願いいたしましたので、本日は安江委員欠席のため、3番上山委員、4番落合委員をお願いしたいと思います。異議はございませんか。</p> <p>(各委員、「異議なし」の意思表示あり)</p> <p>【事務局】それでは、上山委員、落合委員、ご承諾いただけますでしょうか。</p> <p>(上山委員、落合委員「異議なし」の意思表示あり)</p> <p>【事務局】ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録承認委員は、上山委員と落合委員といたします。以降の議事進行につきましては、寒川町まちづくり推進会議規則第4条の規定により、杉下会長をお願いいたします。</p> <p>【杉下会長】ありがとうございます。ここからの進行は着座にて進めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。早速、議題に入っていきたいと思います。4番の議題、(1)第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> <p>4 議題 (1) 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書(案)について(資料1) 【事務局】-資料1に沿って説明-</p> <p>【杉下会長】ご説明をしていただきました。議題(1)について、何かご質問やご意見等ございましたら、お願いいたします。今、説明の中にありましたいまここマップの名称についてですが、議題(3)で改めて説明がありますので、その際に「そのままでもいいよ」や、他のアイデア等をお聞きしたいと思います。それ以外について、何かご意見やご質問があればお願いいたします。</p> <p>よろしいですか。これは雛型の部分であり、議題(2)、(3)でそれぞれの詳細についての説明があるため、先に進めさせていただきます。雛型の修正等について意見がある場合は、その際に併せてお聞きいたします。議題(1)については一度、ここで閉じさせていただきます。途中、気になる箇所がございましたら、挙手等でご発言をいただければと思います。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

それでは、先に進めさせていただきます。議題（２）、第２４回まちづくり懇談会に係る報告書（案）について、事務局からご説明をお願いいたします。

**（２）第２４回まちづくり懇談会に係る報告書（案）について（資料２）**

【事務局】-資料２に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。議題（２）について、ご説明がありました。これについて、ご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。

半澤委員、お願いします。

【半澤委員】資料２の１ページ「１.まちづくり懇談会について」、懇談会の目指す目的、すなわち将来的には課題抽出から解決までの実行とあります。今後の課題について見た際に、比較的、表面的な課題に見受けられ、本来の懇談会の趣旨である、課題抽出から解決までという点において、参加していないため、どのような懇談会が開催されたのかが分かりませんが、結果から幾つか見ると、非常に重要なことを聞いています。町民からの質問を、町が答えているという場面が多々あるように感じました。懇談会の目的が、非常に重要なことを継続的に官民で行うのであるならば、懇談会の振り返りを追加したほうが良いと思います。大体、書いていることは良いと思います。本来の目的に対してどうだったかという振り返りも今後の課題に入れたほうが良いと感じました。

【杉下会長】ありがとうございます。半澤委員の意見、確かに良い意見だと思います。報告書に参加者のご質問、ご意見に対する町長の回答はありますが、中には、「災害時、実際の現場はこうです」と、参加されていた町内会長さんがお答えをする場面もありました。このやりとりが抜けているように感じます。町民や参加者からのご質問に、町長や副町長、町民部長がお答えする場面もありましたが、半澤委員のご意見のとおり、本来の趣旨は町民と町のやりとりではなく、参加者全員で情報や知恵を出し合いながら、諸課題の解決に導くことです。参加者同士のやりとりがあったのは事実であり、災害時の自治会の取組について、町側も参加者もなるほどと感じるものがありました。そのやりとりをどのように報告書にまとめましょうか。

【事務局】確かに参加者からのご意見をいただき、皆さんで話し合う場面があったと思います。このやりとりは「４.今後」の項目への記載になるかと思いますが、文面等について正副会長と事務局のほうで調整させていただいて、追加する形でもよろしいでしょうか。「地域における課題解決に向け、参加者と共

に話し合い～」のような形で追加が出来ればと思います。

【杉下会長】あるいは、参加者の意見の横、「町長の回答/懇談会後の経過・結果等」のこの下に、スペースがあるならば、参加者からのご意見も追記して良いと思います。概略版は全部がポイントとなるため、貴重な意見に対して参加者からもお知恵をいただいたことが分かる表現にした方が、一方的なやりとりではなく、参加者同士の情報共有や意見交換があったことが分かります。本会議が第7期最後となるため、半澤委員のご意見、ご指摘はしっかり受け止めさせていただき、正副会長と事務局で精査をした中で、最終的に報告書へ反映させ、後日、各委員へ修正した報告書をお送りする形としたいと思います。そのような形で半澤委員よろしいでしょうか。本当に大事な、貴重な意見だったと思います。本当にありがとうございます。

【事務局】ありがとうございました。

【杉下会長】他に何かお気づきの点やご質問、ご意見があればお願いいたします。

金子委員、お願いいたします。

【金子委員】自分もこの懇談会には参加をしていますが、町長、町の回答がより具体的に記載できると良いと思います。例えば「検討していきます」という回答について、いつどうなるのかがないと伝わらないと読んでいて感じました。具体的に載せられる文言がある場合、載せても良いと思いますし、町長に提言するにあたって、どこまで表現できるかは難しいと思いますが、具体的な内容が分かる部分においてはお願いしたいと思います。

【事務局】今、ご意見いただきましたが、A4、横型の資料2-1が実際に行われた懇談会の議事録となっております。このようなやりとりがあったという報告になりますので、申し訳ございませんが、ここまでの記載となってしまいます。「懇談会後の経過・結果等」におきましても懇談会后、各担当課からこのような回答をいただいたという現時点での結果になります。

【杉下会長】当日、私がコーディネーターを務めていたため、いつまでに実現できるのかについて、深掘りしてもよかったです感じました。初めての試みということもあり、時間の関係もありましたので、突っ込んで回答を求めることが難しい状況であったと、一つ言い訳をさせていただきます。しかし、金子委員のご指摘のとおり、いつまでという時間的な表現がなかったため、最後、コーディネーターとしてまとめの所見を言わせていただいた際に、「今日のこの懇談会は、参加した方々の意見を聞くのが目的ではなく、あくまでも手段であり、ご意見を一つ

でも二つでも形にするのが目的です。そこの目的と手段を間違えないようにお願いいたします」とお伝えさせていただきました。今後、懇談会でコーディネーターを務める方には、「検討します」という回答に対し、いつまでに実現できそうかを一つ、二つ、質問を突っ込んでいただきたく感じます。そのような感じで修正を行い、漏れがある場合は追記をするということで、もう一度正副会長と事務局で最終確認をしたいと思います。ありがとうございます。

他に何かあれば、菊地委員、お願いいたします。

【菊地委員】半澤委員のご意見、金子委員のご意見それぞれなるほどなと感じました。このまちづくり懇談会は課題解決に結びつくミックスを生む、課題解決につながる場として設けられているものだと考えます。それは、参加した方々が町長に対して要望を述べるだけの場ではないという位置づけがあったかと思います。杉下会長がおっしゃっていただいたとおり、町長が答えに窮したところに、自治会長がご自身の経験をお話しされたという課題解決に繋がるリソースが町ではなく、懇談会に参加していた人からあったことが明らかになる場だったということは記載して良いと思います。金子委員のご質問と関係しますが、議事録がこれまでのまちづくり懇談会の議事録と同じフォーマットであり、参加者から意見、あるいは質問を、町が回答する流れでした。今回、コーディネーターを杉下会長が務めたということで、場合によっては町長が質問して、参加者が答えるというような形でも良いと感じました。そのようなやり方のフォーマットが今回はオンライン形式でしたが、加えて、本来の場に戻すためのものに変えるきっかけになれば良いと思いました。課題解決のリソースというのは、オンラインであれば、この町に住んでいる町民によって、最近では関係人口という言葉方をしますが、その町に住んでいないが何らかの形で町に関わっている方、元町民や、ふるさと納税の寄附者等。オンラインの良さは、地理上の距離を超えて参加できることだと思います。今後の期待を含め、そのような方向性もあり得るのだということがお二人のご意見を伺った感想です。

【杉下会長】ありがとうございます。懇談会のやり方の一つとして、新しい形の町長が自ら質問するというのが出ました。こんな問題、課題を抱えているので、町民の皆さんの良いアイデアをどんどん吸い上げていくことができます。その場合、先ほどの金子委員のご意見のとおり、喫緊の課題に対し、「町民の皆さんの意見をください」と言うことで町長もいつまでに実行すると答えやすくなると思います。金子委員の意見が活かされる手法を、今、菊地委員から良い提案がいただけたと思いますので、今日の推進会議で意見があったということをお付けいただき、最終的にまとめられればと思います。菊地委員、どうもありがとうございました。

他にご意見、ご質問はございますか。井村委員、どうぞ。

【井村委員】私も思っていたのですが、質問です。この意見を広報に載せることはあるのでしょうか。折角、懇談会で良い質問があるのにも関わらず、見ているのは委員だけで、答えを聞いているのは参加者だけです。この意見を広報等に掲載することはしていないのでしょうか。

【事務局】広報は紙面の関係がありますので掲載はしていませんが、ホームページでは過去の懇談会全ての議事録を掲載しております。今回につきまして、まだ掲載されていませんが、7月頃までには掲載する予定です。

【井村委員】議事録は載せなくてはならないというものがあると思います。次に、公開された議事録を見るか見ないかという話になると思います。町長の回答が聞きたいわけではなく、この質問に対して、町ではこのように広域避難所でこのような対策をしていますという回答を知ることができれば、とても良いと思います。紙面の関係については分かりませんが、紙面の関係が許されるのであれば、とても良い広報になると思いました。何故そのようなことを言うかと言いますと、質問ではなく意見になるのですが、これだけ見ていると、町は災害について考えていないのではないかと感じてしまいます。仕事柄、防災に関してはかなり寒川町には危機感を持っており、以前、それを質問した際、うまく流されてしまいました。この回答と全く反対のことを言われたこともありました。そのため、町民安全課の答えで良いと思うので、調べているのであれば、歯がゆさで終わっているよりは町民安全課からちゃんとした答えがないのであれば、災害が起きた際に、大変なことになるのではないかと危惧しています。

【杉下会長】担当課からの答えをより詳細に書ける箇所があれば修正をしていただきます。箇条書きで冒頭に説明、要旨を書いているかと思しますので、具体的に書けるところは書くということによろしいでしょうか。

他にご質問やご意見がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。いろいろご意見、ご質問がありましたので、正副会長と事務局で整理を行い、最終的にできた報告書を委員にお送りし、確認いただく流れにしたいと思います。それでは、議題（2）も閉じさせていただきます。

続きまして、議題（3）、各計画プラン等進捗状況一覧表・（仮称）いまここマップに係る報告書（案）について、事務局からご説明をお願いいたします。

**(3) 各計画プラン等進捗状況一覧表・(仮称) いまここマップに係る報告書(案)について(資料3)**

**【事務局】** -資料3に沿って説明-

**【杉下会長】**説明が終わりました。先ほど議題(1)で少し触れましたが、いまここマップの名称につきましても、今、まだ仮称になっておりますので、最終的には仮称を取った形で町長への報告をさせていただきたいと思えます。名称についてもご意見があれば、併せてご質問等いただければと思います。いかがでしょうか。前回の会議においても名称についての話がありましたが、その後、今日の会議までに名称についての意見は事務局に届いていないですか。

**【事務局】** ご意見はいただいていないです。

**【杉下会長】** では、金子委員、お願いいたします。

**【金子委員】** 名称についてですが、中学生でも分かるように、単純に誰にでも分かる形が良いかと思えます。資料3-2の各計画の進捗状況について、誰でも見やすいというのは良いと思えますが、計画等名について、何々促進計画、基本計画、と名前が長いと感じます。そのような箇所も中学生にわかり易い形で、リンクから別のページに飛んでも構わないと思うので、いろんなことをやろうとしている内容が簡単に分かるような形が良いと感じます。

**【杉下会長】** リンクは貼られていないのでしょうか。

**【事務局】** 資料3-1のホームページトップの画面にあります、審議会等に丸がついていますが、その2つ上に計画がございます。現在、ここをクリックしていただくと、町の計画が一覧で出る形になっておりますが、これはあくまで現在の計画の話です。今回追加する、各計画プラン等進捗状況一覧表を押すと、現在進捗している計画の見直しや改定している計画を資料3-2のような形で見る事が出来ます。そのため、最初の計画とのリンク付けは恐らく出来るかと思えますが、作りが少々ややこしくなってしまうかもしれません。当初、いまここマップを作成する際、一番上のところに計画概要を載せましたが、子どもにも分かり易くするため、上の部分をカットしたような経緯があります。計画を詳しく見たい方は、計画のバナーから入っていただくという整理の方が見やすいかもしれないです。

**【杉下会長】** 確かにページを行き来する手間がある場合、途中で嫌になってしまうこともあるため、金子委員のご意見のとおり、スムーズに見たいところに届くと、ワンストップサービスではないですが、そのような形でリンクを張ることが出来るならば、すごく丁寧だと思います。少し技術的

な面があるため、担当課にご確認いただき、出来るようであれば、そのような改善をしていただきたいと思います。

**【事務局】** はい、分かりました。

**【杉下会長】** 他に皆さんからご意見、ご質問があればお願いいたします。名称についてはどうしましょう。個人的にはこれまでずっと「いまここマップ」で来ているため、その名称に慣れてしまっています。もしよければ仮称を取って、正式に「いまここマップ」という形にさせていただければと思うのですが、いかがですか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

ありがとうございます。それでは、名称については仮称を取り、いまここマップという形で正式な名前をフィックスさせていただき、報告書を町長にご提出をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

他に何か、駆け足で進めてしまったため、今日の議題(1)、(2)でも振り返りでご質問やご意見があれば、併せてお伺いをいたしますが、いかがですか。菊地委員、お願いします。

**【菊地委員】** 資料3の名前の件ではありませんが、3ページ目の中段に「政策プロセスの見える化は」という言葉から始まる1段落がございますが、この会津若松市の記載について私が申し上げた内容かと思うのですが、「誤解から政策形成」ではなく、「議会からの政策形成」です。

**【事務局】** 議会ですか。

**【菊地委員】** 議会です。会津若松市の「誤解からの政策形成」ではなく「議会からの政策形成」です。会津若松市は議会改革で大変有名な自治体です。

**【杉下会長】** 文言的にも、ひょうたんから駒のように間違いから新しい発見が出たのかなと思いましたが、議会に訂正をお願いいたします。他に何かありますか。よろしいですか。先ほどからいろいろなご意見から修正点がありますので、整理をさせていただきご報告させていただきます。それでは、ご意見、ご質問がなければ、議題はここで閉じさせていただきたいと思います。

続きまして、5番の報告に移らせていただきます。報告(1)会議の公開・パブリックコメント等の状況について、事務局からご説明をお願いいたします。

## 5 報告

### (1) 会議の公開・パブリックコメント等の状況について（資料4）

【事務局】-資料4に沿って説明-

【杉下会長】パブリックコメントのご説明が終わりました。何かご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。私から質問してよろしいでしょうか。令和3年度のパブリックコメントの提出数が新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少したのでは、とご説明がありましたが、在宅時間が増えたことでネット等による町に関してのご意見の提出が増えているのかと思っていました。逆に減っているというのは、新型コロナウイルス感染症の影響以外で考えられる事務局の分析があればお聞きしたいと思いました。現状は原因が分からずに減少しているということでしょうか。

【事務局】寒川町民の方々にオンラインが浸透していないのではと感じております。公民館等に設置しているパブリックコメントを見に来られる方が多い印象です。

【杉下会長】それでは、令和2年度以前に関してまして、ネットより紙ベースで提出されるパブリックコメントの方が多かったが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の影響から足を運ぶ人が減り、それに伴い、提出数が減少したのではないかというのが現状の分析でしょうか。そのような分析結果ですと、なるほどと思います。今後、新たにZ o o m等の様々な機会を通じたいろいろな意見が出される場を作ることが出来れば、この状況も変わってくるかと思えます。

他に何か皆さんからご意見、ご質問はありますか。菊地委員、お願いいたします。

【菊地委員】先ほどご説明していただいた、資料4の1ページ目、傍聴定員数に対する傍聴者数について、傍聴者数の減少の要因は対面での審議会開催が少なかったからだと考えます。加えて、パブリックコメントのご質問の件について、一昨年まではどのようなものであったのかが気になります。パブリックコメントの案件によって、数が変動するかと思えます。第6期まちづくり推進会議でパブリックコメントについて、かなり手を入れてやったことの成績表が結果として出てくると考えております。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響が件数に入ってくるため、一昨年までと比較をし、意見の提出経路が、はがきなのか、書面なのか、あるいはホームページなのか。これらについてももし分かりましたら、そのような経年で迫っていけると思えます。今後のまとめ方の工夫の参考にしていただければ、見直しの際の情報にもなるかと思えます。

【事務局】これまで意見数の集計は行っていましたが、パブリックコメントを実施した間につきまして、どのような経緯で意見が出されたかまでの

集計は公表していませんでした。ですので、今、お話しいただいたように、どのような形でご回答をいただいたのか、今後集計していく必要があるかと感じております。意見数について、令和3年度実施のパブリックコメントは9件で、いただいた意見数は119件です。令和2年度に実施したパブリックコメントは12件と案件は多かったのですが、意見数につきましては76件しか受けてございません。結果として、案件12件に対して76件の意見数であったのが、令和3年度は9件の案件に対して、119件のご意見をいただいたということは、パブリックコメントが認知され始めたと感じております。

【杉下会長】先ほどの説明であった新型コロナウイルス感染症の影響により意見数が減少したという表現は齟齬が出てしまうと感じます。

【菊地委員】第6期まちづくり推進会議の成績表ですから、件数が上がったというのは大概喜んでいいのかもしれませんが。

【杉下会長】菊地委員のおっしゃるとおり、コロナ禍による提出の仕方や、前段のご説明にあった書面等について、総体的にこれまでより多い結果となりました。その点の分析も、今後、パブリックコメントの案件を多く出すことが目的ではないですが、貴重な意見をより多くいただく貴重な機会となるため、有効的に活用できるよう、今後の課題として資料提出の際に、必要であれば提出の仕方の見直しについても考えていただきたいという意見を承っておきたいと思っております。他にご意見、ご質問があればお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、報告（1）はここで閉じさせていただきます。続きまして、報告（2）令和3年度寒川町みんなの協働事業提案制度採択【実績報告】についてに移らせていただきます。事務局よりご説明をお願いいたします。

## （2）令和3年度 寒川町みんなの協働事業提案制度採択事業【実績報告】について（資料5）

【事務局】-資料5に沿って説明-

【杉下会長】今回は1件の協働事業がありました。何かご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。金子委員、お願いいたします。

【金子委員】日本一のすいせんの町にする会ですが、我々も寒川の青年会議所の際に、20年位前に花物語という形で、スイセンの種類を日本一集めようと時計台近くにスイセンを植えました。ですが、管理が難しく収束してしまいました。日本一にするというのは、スイセンの何種類かの数を合わせ、日本一にするということなのか、日本一の目的についてご説明をいただけますか。

	<p>【事務局】 日本一のすいせんの町にする会はあくまで団体名であり、団体はそれを目指し活動しているため、この名称としております。本数で見た場合、何百万本と植わっている場所もあるため、恐らく日本一は難しいのではないかと考えております。ただ、そこを目指していくという趣旨だと伺っています。</p> <p>【金子委員】 もう一つ、寒川のロータリークラブが町内を桜でいっぱいにしてしようという活動を、何年もかけて行っていました。桜の咲く時期は非常に短く、咲いていない時期は虫や落ち葉の問題があり、敬遠されてしまい、頓挫しました。スイセンも同様に咲いている期間は短いにもかかわらず管理に手間がかかると思います。それ以外のスイセンの咲く場所の利用について具体的に考えていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>【事務局】 団体からはスイセンの時期は短いため、春夏秋と異なる種類の花を植えていきたいとのご意向は伺っています。こちらは協働事業として、スイセンを町の花としてPRする趣旨で活動したものになります。</p> <p>【杉下会長】 今回、スイセンズさんは中央公園の入り口で活動されていたため、機会があれば少し見ていただければと思います。また、今後も活動されていると思うため、近くに行った際は、「きれいな花が咲いていますね」等の一言をかけるだけでも、皆さんのやる気や活力になるかと思えます。金子委員、引き続きアドバイスやお知恵をいただければと思います。他にご意見、ご質問等がございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上で報告（２）は閉じさせていただきます。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 第7期寒川町まちづくり推進会議報告書（案）</p> <p>資料2 第24回まちづくり懇談会に係る報告書（案）</p> <p>資料3 各計画プラン等進捗状況一覧表・（仮称）いまここマップに係る報告書（案）</p> <p>資料4 会議の公開・パブリックコメント等の状況</p> <p>資料5 令和3年度 寒川町みんなの協働事業提案制度採択事業 【実績報告】</p> <p>参考資料1 第7期寒川町まちづくり推進会議委員名簿</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>上山委員, 落合委員（令和4年7月4日確定）</p>